



2021年7月30日

各 位

上場会社名 興 研 株 式 会 社
 代 表 者 代表取締役社長 村川 勉
 (コード番号 7963 JASDAQ)
 問 合 せ 先 取締役経理部長 長坂 利明
 (T E L 03-5276-1911)

第2四半期(累計)業績予想の修正に関するお知らせ

最近の業績動向を踏まえ、2021年3月18日に公表いたしました2021年12月期第2四半期(累計)の連結業績予想を下記の通り修正いたしましたのでお知らせいたします。

記

1. 業績予想の修正

2021年12月期第2四半期(累計)連結業績予想の修正(2021年1月1日~2021年6月30日)

	売上高	営業利益	経常利益	親会社株主に 帰属する 四半期純利益	1株当たり 四半期 純利益
	百万円	百万円	百万円	百万円	円 銭
前回発表予想(A)	4,900	420	410	470	93.89
今回修正予想(B)	5,285	580	580	600	119.86
増減額(B-A)	385	160	170	130	
増減率(%)	7.9%	38.1%	41.5%	27.7%	
(ご参考)前期第2四半期実績 (2020年12月期第2四半期)	5,155	637	633	489	97.75

2. 修正の理由等

2021年12月期の連結業績予想につきましては、医療分野におけるマスク需要の減少を織り込みましたが、コロナ変異株の出現等で感染拡大が予想以上に長引いており、当第2四半期累計期間の感染対策用N95マスク「ハイラック350型」の受注は期初予想を上回りました。なお、医療分野における需要の大半を占める医療従事者のワクチン接種が優先的に進められたことに伴い、現在の受注は減少傾向にあります。

オープンクリーンシステム「KOACH」の販売につきましては、対面営業の機会回復が見込めず苦戦を強いられると予想しておりましたが、実機のリモート見学や省エネ等の本質的メリットの紹介及びクリーンルームのJIS改正の解説などをライブ中継するオンライン営業が奏功し、成約率・成約数ともに向上しています。また、半導体関連の活況も追い風となり、納入件数、販売台数、売上高はともに前年同四半期実績を上回ることが確実となっております。

一方、産業用マスクの販売は、昨年のマスク供給不足の懸念に伴う仮需要の反動減及び製造業の稼働率低下に伴う需要減を期初から見込んでおりましたが、当第2四半期累計期間の減少幅は、ほぼ予想通りとなっております。なお、この傾向は今後しばらく続く見通しです。

当社事業分野は、長引くコロナ禍によって増収・減収両方の影響を受けていますが、当第2四半期累計期間におきましては増収要因が勝る形となり、売上高は前回予想を上回る見込みです。

利益につきましても、増収に加え感染対策を強化した業務効率化の推進により経費削減効果が大きく顕れ、前回予想（3月18日付、「特別利益及び連結業績予想の修正に関するお知らせ」にて開示）を上回る見込みです。

今回、当第2四半期累計期間の連結業績予想については上方修正となりましたが、今後の新型コロナウイルス感染症の収束及びそれに伴う製造業の稼働状況の動向によって、業績数値に大きな差が生じる可能性があります。

従いまして不確定要素が大きく今後の見極めが非常に困難であることから、現時点で通期の連結業績予想の修正は行いません。なお、修正が必要となった場合は速やかに開示いたします。

（注）本資料に記載している業績予想数値は、本資料の発表日現在において入手可能な情報に基づき作成したものであり、実際の業績は、今後様々な要因によって予想数値と異なる可能性があります。

以上